

公益財団法人
日本教育公務員弘済会東京支部
株式会社都教弘

弘 済 会

だ・よ・り

通刊 **146**号
2025年7月15日発行

夏 2025年度
の特集号



写真:「夏空に泳ぐ」 撮影:長谷川 勇(友の会会員) 撮影場所:鳥取県伯耆町

公益財団法人 **日本教育公務員弘済会東京支部**
〒102-0074 東京都千代田区九段南2丁目3番14号 靖国九段南ビル8階
TEL 03(5210)4201(代表) FAX 03(5210)3953
ホームページアドレス <https://www.nitkk.com/>



弘済会東京支部

検索

個人情報の 取扱に ついて

当誌「弘済会だより」の様々な事業にご応募いただく皆様に、下記の点を**ご理解の上お申し込み**いただきますようお願いいたします。

1. 当支部は、適正に取得した個人情報を当支部の目的事業（奨学、研究助成、福祉、教育文化、共済）の運営のために利用します。
2. 当支部は、個人データを提携会社・団体と共同して利用、委託会社・団体に提供することがあります。
3. 当支部は、適正に取得した個人情報を目的を同じくする弘済会関連団体（株式会社都教弘など）と共同して利用することがあります。
4. 当支部の個人情報の取り扱いにつきましては、日教弘本部のホームページもご覧下さい。（<https://www.nikkyoko.or.jp>）

ごあいさつ

公益財団法人 日本教育公務員弘済会東京支部
支部長 小嶋 広行



夏休みを間近に控え、何かと多忙な日々が続いていることだと拝察いたします。

さて、今回の『弘済会だより 146号』も、学校現場における学校担当 LC・ジブラルタ生命の協力・実践による小・中学校での「金融教育」「キャリア教育」の特別授業、そして、杉並区の進路指導部の先生方の研究会における講演の様子を紹介しています。どの取組も好評を得ています。弘済会東京支部と提携保険会社ジブラルタ生命は、今後も様々な形で連携し、学校・子どもたち・先生方を応援していきます。

次に、2025年度の東京支部の体制、2024年度の事業実績及び実施事業の報告、また、当面の弘済会事業についてご案内いたします。各種の事業にぜひ応募・ご活用いただければと思います。

そして、今年4年目となる「教育実践論文」へ夏季休業期間中に多くの応募を期待しています。また、「大学給付奨学生」はこの夏季休業期間からの応募となります。

日本教育公務員弘済会は、戦後の荒廃と困窮のさなか、教育の復興と教職員の生活の安定をめざし設立されました。先輩方が、「たすけあい」の精神で始めた共済事業（教弘保険）は、現在、私たちにとって大きな安心を生み出す心強い財産となっています。そして、教育現場を支援する教育振興事業はもちろんのこと、会員対象の福祉事業と、弘済会の事業は、その根底には「たすけあい」があります。

公益財団法人の「民による公益の増進」という使命、そして日教弘の理念「最終受益者は子どもたち」を受け、この間、東京支部も、教育研究助成事業・奨学事業・「弘済会花いっぱい運動支援助成」・「弘済会学校図書助成」（各校での贈呈式の様子を掲載しています。）など教育振興事業を、そして先生方への福祉事業を実施してきました。今後も事業を通じて皆様とのつながりを大切に、「たすけあいの輪」を広げていきたいと思っております。

現在、学校現場には様々な課題が山積しています。「給特法」が改正されましたが、課題は残されているようです。そうした中で、東京支部は、児童生徒の教育環境の改善、先生方が安心して働ける状況を願うとともに、少しでもその一助となれるよう今後も事業を推進していく所存です。

引き続き、皆様のご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

連日、猛暑が続きます。健康には十分ご留意され、厳しい暑さを乗り切ってください。

目次

ごあいさつ	1	今からはじめるセカンドライフ対策セミナーのご案内	12
2025（令和7）年度 学校応援キャンペーン	2	2025（令和7）年度 教育実践論文集録第4集の表紙写真募集のお知らせ	12
お金の理解が未来を変える ～杉並区立高南中学校～	3	1. 研究助成事業	13
安定した生活を築くために ～東大和市立第五中学校～	4	①教育実践論文 ②日教弘教育賞	
知ること広がる未来 ～東京都立富士高等学校附属中学校～	5	2024年度日教弘教育賞受賞者ご紹介	14
努力の先にあるもの ～中野区立上鷲宮小学校～	6	共催事業「ふれあい感謝状21」	14
お金を通して学ぶ“生き方” ～江東区立数矢小学校～	6	2. 奨学事業	15
杉並区の教育研究会進路指導部で講演を行いました！ ～杉並区立泉南中学校～	7	2025年度 大学給付奨学生（予約型）募集	
東京支部参事ご紹介	8	3. 教育文化事業	15
2025年度 日教弘東京支部幹事・監査・運営委員ご紹介		2025年度 弘済会花いっぱい運動支援助成実施	
2025年度 教育振興事業選考委員ご紹介	9	2024年度 弘済会花いっぱい運動支援助成一覧	16
2024年度 弘済会の事業実績	10	2024年度 弘済会学校図書助成校贈呈式	17
2024年度に実施した公益事業の概要	11	4. 福祉事業	27
		①デイズニー・オン・クラシックご招待 ②茂山忠三郎狂言会ご招待	
		③都響の演奏会ご招待 ④都響の第九ご招待	
		共済事業（提携保険事業）	30
		「たすけあい」の輪を広げよう（日教弘会員募集）	34
		生命保険・損害保険 資料見積請求	34

2025(令和7)年度 学校応援キャンペーン

沢山の
ご応募を
お待ちしております!!

全国の公立学校へ
抽選で1500校に「学校賞」を贈呈いたします!
応募数に応じて、東京都の当選校数が増加します。

応募特典

アンケートに
お答えいただいた
応募者全員に
プレゼント

4in1
タッチペン



公益財団法人日本教育公務員弘済会は、明日を担う子どもたちのために、日本の教育振興に寄与・貢献する事業の拡充及び教職員の皆さまの福祉向上に努めています。日頃からのご支援、ご協力に感謝を込めて「学校応援キャンペーン」を今年度も実施いたします。アンケートにお答えいただいた管理職等の皆さまの学校の中から抽選で学校賞を進呈いたします。また、ご応募いただいた皆さまにももれなく粗品を差し上げます。多くのご応募をお待ちしております。

B賞

100校

バーチャル電子
黒板



A賞

200校

学校用ワンタッチ
タープテント



C賞

300校

高圧
洗浄機



D賞

300校

バッテリー
ステーション



E賞

600校

黒球式熱中症計
(ストラップ付)



応募期間 2025年6月1日(日)～8月31日(日)

応募方法

アンケートにお答え
いただくだけ!

対象者

校長、副校長、教頭、事務長、事務職員
※各校から複数の方がご応募いただけます。

詳しい応募については、学校担当者からご案内させていただきます。

日教弘クラブオフのキャンペーン中!

期間中に「日教弘クラブオフ」にログインし、
キャンペーンへお申込み頂いた方へ
抽選でデジタルギフト券が当たります!

キャンペーン期間: 6月2日(月)～8月31日(日)

※WEB入会の方は、本会報P34を参照

ガイドブックは
こちらから!



お金の理解が 未来を変える

金融教育



村田LC 名倉先生 持田副校長 金子LC 中野渡所長
ジブラルタ生命保険 株式会社 東京第5支社 千代田第六営業所
ジブラルタ生命保険 株式会社 新宿支社 新宿第八営業所
ジブラルタ生命保険 株式会社 新宿支社 新宿第八営業所

杉並区立高南中学校

名倉 武 先生（現：東京都立富士高等学校附属中学校）



令和7年3月7日（金）に、金融教育「グループワークで学ぶ将来とお金の入門教室」の出張授業を3学年対象に2時間実施しました。中学校の金融教育は、特定の時間は設けられておらず、主に社会科の公民分野や技術・家庭科の授業を通して学習を行うのが現状で、専門知識の不足など課題もあります。

本校の講演では、4つのテーマを前半と後半に分けました。前半は、人生において、将来の夢や希望を叶えるためには、お金について学ぶ必要性や、ニーズとウォンツを明確に区別し、計画的にお金を使う方法を教わりました。後半は、自立した消費者として責任ある消費行動のあり方について考えました。安全で安心できる消費生活を送るために、契約についてルールを知ることの大切さを楽しく学びながら考える貴重な機会となりました。

今回依頼したジブラルタ生命の村田航平様には、御多用の中、日程調整をしていただき、快く講師をお引き受けいただきました。心より感謝申し上げます。

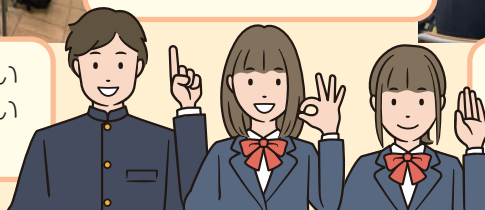
生徒たちにとって、正しい金融の知識や情報を持ち、主体的に行動できる生きる力を養うことができました。



生徒たちの声

将来の夢を実現するために、計画的に考える大切さがわかりました。

もっとお金のことについて貪欲に学びたいと思いました。



「知っている」と「知らない」とでは、大きな差があると感じました。



ジブラルタ生命保険株式会社
東京第5支社 千代田第六営業所

村田 航平

学校でお会いすると必ずサッカーかお金の話で盛り上がる名倉先生からの真面目な依頼だったので、先生のキャラに負けない楽しさを追求して授業に臨みました。3年生卒業直前の3月だったので、これから高校生になりアルバイトをしたり自分で扱えるお金が大きくなる生徒に向けて、お金に対する向き合い方やトラブルの事例、トラブルに巻き込まれないためにどのように行動すべきかなどを実体験を交えて話したり、「今後どのような人生を生きていきたいか」を考えるグループワーク、夢や理想にかかるお金の話など、飽きずに楽しく学べる授業を意識しました。

生徒さんの反応がとても良く、笑い声溢れる授業になりました。名倉先生や担任である永島先生、西川先生をはじめ高南中の先生方のご指導の素晴らしさを感じると同時に、毎日授業と業務をこなす皆様改めて敬服しました。

今回は数学の時間で授業をさせていただきました。教科、学年関係なく、中高だけでなく小学校でも金融教育授業の依頼が増えています。『自分も同じ年齢の時にお金のことを学びたかった』と言われる先生方が非常に多いです。僕も教えて欲しかった…。ご興味ある方はお気軽にジブラルタ生命の学校担当にお声掛けください！

安定した生活を 築くために

金融教育



東大和市立第五中学校

校長 住吉 豊 先生

この度の出前授業、大変感謝しております。日本はお金に関することを、きちんと学べる場が少ないと思います。と言いますか、文化としてお金のことを人前で話すのは、お金に執着しているようで美德ではないという考え方があるように感じます。しかし、先の見通しが不安定な時代には、お金についても知識としてしっかりと学ぶ場が必要と感じます。授業後の感想文には、「トラブルを避けるためにも、契約の大切さがわかった。」「将来を考える中で必要なお金を計画的にきちんと考え、管理することが大切。」等の声と共に、「説明が大変わかりやすかった。」という声も多数でした。最近、金融教育を行う銀行や証券会社等も増えてきました。ジブラルタ生命さんは、担当の方がこまめに学校においでくださり、頼みやすかったことも大きいです。今後も、計画的に金融教育を進めるにあたり、ジブラルタ生命様にはお力添えをいただければと思います。ありがとうございました。

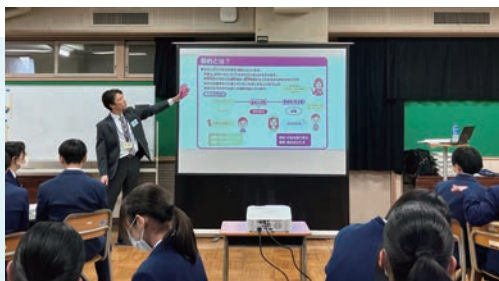


家庭科 土持 馨子 先生（現：東京都立青梅総合高等学校）

消費者教育は、民法の改正による成年年齢の引き下げに伴い、消費者被害の未然防止、自立した消費者として消費者市民社会を形成する担い手となることを視野に入れて、消費者教育の充実を図ることを目的としています。また、その学習内容は大人になる前に身につけておくことが必要な事柄が多く、小中学生のうちから学習を進めることが大切です。

今回、本校家庭科の消費者教育(出前授業)は、前任校でも中学生に大変好評であったジブラルタ生命保険(株)に迷わず依頼しました。中学2年生の授業だけでなく、折角の素晴らしい授業は本校全学年と特別支援学級にもお願いしたいと思いました。

3学期最後の授業を快くお引き受け頂き大変感謝申し上げます。ありがとうございました。



ジブラルタ生命保険株式会社
東京第3支社 久米川営業所 土屋 兼久

この度、「生徒のための金融セミナー 将来とお金の入門教室」を2日間に渡り東大和市立第五中学校の全学年・全クラスに向けて開催させて頂きました。

住吉校長先生をはじめ先生皆様が一丸となり【学校に通う生徒の未来を守る】そんな強い意志を感じました。ご担当の土持先生からのご要望で「成人年齢の引き下げによる消費者トラブル」や「中・高校生が巻き込まれやすい金融トラブル」等、お金に関する事例を中心にセミナーを行いました。当日は生徒さんも熱心に授業に参加し、先生方も積極的にご協力くださり、とても思い出に残る授業が開催できたように思います。また同時に50分の授業がこんなに大変なものかと気付かされ、それを日々当たり前の様に活動されているらっしゃる先生に尊敬の念を抱きました。

久米川営業所では昨年度、地域の公立中学生の「職業体験」も行い、学校や生徒さんに大変喜んで頂きました。これからも学校をはじめ、先生方、生徒の皆さんのお役に立ちたいと思い、今日も校長先生の皆様に金融授業の案内をさせて頂いております。

知ることで 広がる 未来

金融教育



田川先生

勝嶋校長

岩井所長

村石LC

ジブラルタ生命保険
株式会社
新宿支社
新宿第十一営業所

ジブラルタ生命保険
株式会社
新宿支社
新宿第十一営業所

東京都立富士高等学校附属中学校

統括校長 勝嶋 憲子 先生（現：東京都立国分寺高等学校 統括校長）

成年年齢の18歳引き下げに伴い、18歳とは言ってもまだお金に関する知識や判断能力が低い若年層ですから、消費者トラブルに巻き込まれる機会が増加するため、小中学生のうちから「金融リテラシー」を身に付けることは重要と思っていました。学習指導要領にも金融教育が位置付けられ、今回のジブラルタ生命保険（株）の「金融教育セミナー」を最適なタイミングと思い、富士の中学2年生の家庭科の授業で、お金の知識と教養を身に付けられる講義を受講させていただきました。

生徒達は、自分の身近な話題に興味・関心をもって、「お金を稼ぐ、使う、貯める、増やす」という観点から生涯にわたる資産形成について学ぶとともに、金融全般の機能や社会全体における役割を見通し、お金を通して社会を考える視点をもつことができましたと思っています。

生徒が課題を発見し、解決に向けて考えるセミナーの機会をいただき、心より感謝申し上げます。

家庭科 田川 奈緒子 先生

「このグラフは何を示しているでしょうか」

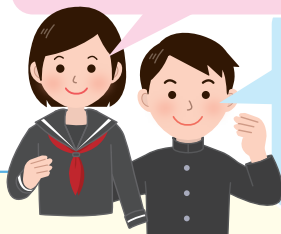
縦軸に金額、横軸に時間（年）を示しているグラフを提示し、岩井さんの講義は開始されました。ディズニーランドのパークチケット代の推移に生徒たちは衝撃を受け、その次に提示された同期間の日本人の平均年収の推移のグラフにもまた、衝撃を受けました。この30年ほど日本では賃金がほとんど上がらない中で物価は変動していることを目の当たりにし、お金の価値、物の価値について彼らは今一度考える機会をいただきました。

さらには、各国と日本の給与水準について比較すると、欧米諸国に比べて日本の賃金の増加は緩やかで、現在は他の欧米諸国よりも給与水準が低い（ドル換算）ことが読み取ることができます。日本には充実した社会保障制度があり、他国と比較しても手厚い保障制度が確立しています。給与水準だけで国の豊かさを判断することはできないが、超高齢社会であり少子化の進行する日本が今後国の豊かさを維持して発展していくためには、どうしたらよいか。日本の次世代を担う生徒たちが、将来の生き方に目を向けることのできる40分間でした。



価格が上がってるのにお小遣いが
ふえないのは悲しいと思いました。
1990年くらいにタイムスリップして
ディズニー行きたいと思いました。

生徒たちの
声



出前授業では今までニュースなどで
何となく聞いていた物価上昇のことなど
についてより詳しく知ることができ、
これからの将来について考えるきっかけ
になりました。

ジブラルタ生命保険株式会社
新宿支社 新宿第十一営業所

村石 彩

昨年度に引き続き、東京都立富士高等学校附属中学校2年生・3年生を対象に金融教育セミナーを実施させていただきました。2回目の開催で昨年の生徒の皆さんは続きの内容となりグループワークは活発に行えました。対象を中学生にすることでより多くの学びがあったように思います。継続的に行うことで金融知識の習得や世の中のお金の流れ等に関心を持っていただけたと思います。

今回、開催にあたり多大なるご尽力いただきました勝嶋校長先生、家庭科の田川先生に心より感謝申し上げます。

努力の先にあるもの

元日本代表バレーボール選手の話を聞いて

キャリア教育

中野区立上鷺宮小学校

嶺岡 将太 先生

プロスポーツ選手は児童にとって憧れの存在の一つであり、話を聞くことができたのはとても貴重な経験になったはず。どの児童も興味をもって真剣に話を聞いていました。

今回は、「最後まであきらめないことで挫折を乗り越えることができる。」ということが主題になっていたかと思いますが、「なぜ諦めずに努力し続けることができたのか」、「諦めない姿勢につながった経験は何か」についてさらに詳しく教えてもらえると、児童にとってより身近な内容になったかと思います。

尾島 安里紗 先生

出張授業をしていただいたのは、学年で「職業調べ」に取り組んでいるなかでした。本クラスには、スポーツ選手（野球・サッカー・テニス）という職業について調べている児童が6人いたため、熱心に聞き入っていました。

特に、プロの世界に入る前に、どのようなチームでどのような実績を残していたのか、どのタイミングでプロを志したかなどを詳しく話してくださったことは、大変参考になりました。なぜなら、児童が小学校卒業以降の進路を考える際、具体的なビジョンを立てる助けとなると思うからです。児童からの質問にもたくさん答えてくださり、児童は満足しておりました。ありがとうございました。



藤島校長 峯村所長
ジブラルタル生命保険株式会社
新宿支社新宿第一営業所



お金を通して学ぶ”生き方”

金融教育



江東区立数矢小学校

校長 澤田 純二 先生

こどもたちが夢の実現に向けて努力したり、理想的なライフスタイルを送ったりするため、キャリア教育は重要です。しかし、日本人の金融リテラシーは、残念ながら国際的に見ても高くなく、計画性もなく安易に収入を得ようとする若者が増えているそうです。そこで、本校では、こどもたちが社会におけるお金の様々な働きを理解し、個人としても社会人としても自分の生き方の価値観を磨くことができるよう、キャリア教育の一つとして金銭金融教育に関する授業を実施しています。

今回は、ジブラルタル生命の方に金融セミナーの授業を行っていただきました。とても楽しく充実した内容で、こどもたちの感想の中には「売買契約の問題はこの授業がなければ知らなかった。」などありました。「お金」の重要性や価値観を理解することができたと考えます。ありがとうございました。



澤田校長 中山先生 佐藤LC 吉田MD
小川先生 小田桐先生
ジブラルタル生命保険株式会社 東京第2支社 江東第一営業所
ジブラルタル生命保険株式会社 東京第2支社

生徒たちの声

だまし絵を使って、お金は見えているところが全てだとは限らないことを教えて下さったことが一番印象に残りました。

お金の使い方やどのようにして使っていくか等、お金の優先順位などこれから生活していく上で大切なことがわかりました。



ジブラルタル生命保険株式会社
東京第2支社 江東第一営業所
佐藤 純子

江東区立数矢小学校にて、お金の授業の開催をご依頼いただき深く感謝申し上げます。児童の皆さんが熱心にお話を聞き、お金の大切さをしっかり学ぶ姿が印象的でした。将来に向けた第一歩となる授業になれば幸いです。

これからの子どもたちに
求められる力

杉並区の 教育研究会進路指導部で 講演を行いました！



村田LC 猪口先生 若尾校長 眞鍋先生
ジブラルタ生命保険株式会社
東京第5支社 千代田第六営業所

杉並区立泉南中学校

校長 若尾 美暢 先生



中学では卒業後の進路選択があり、その進路選択を含めキャリア教育を実践しています。しかし社会が非常に早く変化している中、今の社会ではどのような人材が求められているのか、直接企業の方の話を伺う機会がなく、学校で常に生徒のことを考え指導している教員にとって、生の意見を聞くことができるということは大変貴重なことです。そこで、指導に対する再確認と自信にもつながると考え、学校に来ていただいているジブラルタ生命の村田さんに講師を依頼しました。事前の打ち合わせから、資料の提供等、丁寧かつ密に行なっていただきました。また、当日は村田さんが関わっている様々な業種の方々の話を含め、非常に分かりやすく講演いただきました。教員にとって非常に良い機会となり、勉強にもなりました。ありがとうございました。

眞鍋 淳一 先生（杉並教育研究会進路指導部 部長）

杉並区の進路指導部会では研究主題を継続するとともに「予測不能な社会を生き抜くために」をサブテーマとし、今の社会での課題を理解し、将来の為に中学生に必要な考えを学び、高校入試の大きな変化と、それに対応する教育現場での授業実践や進路指導の在り方を見直す研究をしています。その一貫として幅広い企業の人たちと関わっているFPであるジブラルタ生命の村田さんに講演を依頼し、社会の一員として自覚をもたせる活動例を学びました。

また、キャリア教育についても中学校でも充実させていくため、目の前の生徒に卒業時点でできるようになってほしい目標を抽象的でなく具体的に設定することを村田さんから様々な視点からお話をいただき、今を生きる中学生に必要なことを学び、進路指導に役立てることができました。

主任教諭 猪口 亮子 先生

教員という立場では、なかなか異業種の方々の考える『求める生徒像』を知ることはできなかったのですが、村田さんのお話でいろいろ勉強することができました。今後、生徒に対して進路指導を行う場面でも、『一般社会に出たら』という面を意識して指導していきたいと思います。



杉並区の進路指導部会の先生方



ジブラルタ生命保険株式会社
東京第5支社 千代田第六営業所 村田 航平

今回、進路指導担当の先生方に向けて『これからの時代に求められる人材像と、子どもたちに今からやってほしいこと』というテーマで1時間講演させていただきました。僕が生命保険の仕事を通じて出会った様々な職種、かつ人事やマネジメント経験のある方20人以上にインタビューをし、今社会で求められる資格・スキル・人材像についてまとめ、僕自身の経験を交えてお話ししました。

ジブラルタ生命の学校担当は他業種からの転職がほとんどであり、また仕事柄いろんな職業の方にお会いするので、キャリア教育でもお役に立てることは非常に多いと思います。キャリア講演や職場体験依頼、『この職業の繋がりはないか?』という人探しなど、お気軽にジブラルタ生命の学校担当を頼ってください！



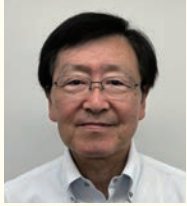
東京支部参事をご紹介します



弘済会東京支部は、東京の各教育界から幹事・運営委員・監査委員を推薦していただくとともに教育振興事業選考委員・参事等で構成されております。都内の全教職員の皆様方に弘済会の教育振興事業をより一層理解していただくために、以下の10名の参事が学校に直接お伺いして各種事業の説明等をしております。

藤井 正昭

幼稚園・小学校



千代田・江東・豊島・台東・江戸川の各区
東村山・小平・東大和・東久留米・国分寺の各市
日の出町・奥多摩町・檜原村

渡邊 伸

中学校



品川・目黒・大田・世田谷の各区
八王子・立川・府中・狛江・小平・東大和・西東京・小金井・東村山・清瀬・東久留米・武蔵村山・調布の各市
奥多摩町・檜原村
(夜間中学校を含む)

佐々木 研一

幼稚園・小学校



大田・世田谷・中野・北の各区
町田・西東京・多摩・武蔵野・稲城の各市

石津 祐次

中学校



墨田・中野・杉並・北・練馬・江戸川・板橋の各区
三鷹・稲城・多摩・あきる野・日野・町田の各市
日の出町
(夜間中学校を含む)

茂呂 みゆき

幼稚園・小学校



板橋・渋谷・杉並・足立の各区
昭島・府中・羽村・調布・あきる野の各市

岸川 孝

中学校



千代田・中央・新宿・台東・江東・豊島・荒川・港・文京・足立・葛飾・渋谷の各区
武蔵野・青梅・福生・羽村・国分寺・昭島・国立の各市
瑞穂町
(夜間中学校を含む)

小川 孝裕

幼稚園・小学校



港・目黒・練馬・荒川の各区
八王子・小金井・国立・武蔵村山・日野・三鷹の各市

清水 智之

高等学校



区部全都立高校
及び三鷹中等教育学校、調布北高校、神代高校、狛江高校

北島 陽彦

幼稚園・小学校



中央・品川・墨田・葛飾・新宿・文京の各区
清瀬・福生・青梅・狛江・立川の各市
瑞穂町

糸井 一郎

高等学校・特別支援学校



市部全都立高校
(三鷹中等教育学校、調布北高校、神代高校、狛江高校を除く)
全特別支援学校

2025年度 日教弘東京支部 幹事・監査・運営委員をご紹介します

(任期:2025年7月1日~2027年6月30日)

役職名等	氏名	所属
支部長	小嶋 広行	(公財)日教弘東京支部
常任幹事	東 浩通	(公財)日教弘東京支部
幹事	坂西 圭子	東京都立小学校長会 筆頭副会長
幹事	松澤 亮	東京都中学校長会 副会長
幹事	加藤 泰弘	東京都立高等学校長協会 入選対策委員会委員長
幹事	西田 良児	東京都立特別支援学校長会 副会長
幹事	高橋 博	東京都立小中学校事務職員会 会長
幹事	峰岸 慎吾	東京都立学校事務職員会 会長
幹事	加藤 裕子	東京都教職員組合 執行委員長
幹事	富崎 豊和	東京都高等学校教職員組合 執行委員長
幹事	小田 正道	東京都立学校教職員組合 執行委員長
幹事	野田 洋美	東京都障害児学校教職員組合 執行副委員長
幹事	湯本 純	公益社団法人東京都教職員互助会 理事
幹事	竹田 勇希	(公財)日教弘東京支部
監査	西岡 陽子	東京都立特別支援学校長会 理事
監査	樽谷 聡	東京都立学校事務職員会 副会長
監査	永由 真紀子	東京都立学校教職員組合 副委員長
運営委員	江口 千穂	東京都立小学校長会 庶務部長
運営委員	牧野 崇	東京都中学校長会 総務部長

役職名等	氏名	所属
運営委員	博田 英明	東京都立高等学校長協会 入選対策委員会副委員長
運営委員	守屋 光輝	東京都立特別支援学校長会 事務局次長
運営委員	紅谷 昌元	東京都立小学校副校長会 会長
運営委員	水村 亮	東京都立中学校副校長会 副会長
運営委員	古川 壽秀	東京都立高等学校副校長協会 全日制部会長
運営委員	佐々木 和江	東京都立特別支援学校副校長会 会長
運営委員	小松 千鶴子	東京都立小中学校事務職員会 副会長
運営委員	安部 卓也	東京都立学校事務職員会 副会長
運営委員	栗原 隆充	東京都教職員組合 執行副委員長
運営委員	菅谷 知由	東京都高等学校教職員組合 書記長
運営委員	武捨 健一郎	東京都立学校教職員組合 書記長
運営委員	塚本 敬	東京都庁職員労働組合 都立学校支部 副支部長
運営委員	板原 毅	東京都障害児学校教職員組合 書記長
運営委員	綱川 祐介	東京都立学校事務職員組合 書記長
運営委員	荻原 三郎	東京私立学校教職員組合 書記長
運営委員	杉原 幸喜	公益社団法人東京都教職員互助会 総務課長
運営委員	坂井 良充	東京都教育庁指導部 管理課長
運営委員	川口 英生	東京都教育庁福利厚生部 福利厚生課長
顧問弁護士	黒田 純吉	四谷共同法律事務所

2025年度 教育振興事業選考委員を をご紹介します

役職名等	氏名	所属
委員長	高野 敬三	元東京都教育庁教育監
選考委員	角田 美枝子	東京都退職校長会
選考委員	多田 丈夫	東京都退職校長会
選考委員	桜庭 清徳	東京都退職校長会
選考委員	三原 一浩	東京都退職校長会

役職名等	氏名	所属
選考委員	豊田 英昭	東京都立学校退職教頭・副校長会 連合会
選考委員	西川 順	東京都立学校退職教頭・副校長会 連合会
選考委員	福岡 健	東京都立学校退職教頭・副校長会 連合会
選考委員	大河内 保雪	東京都立学校退職教頭・副校長会 連合会
選考委員	東 浩通	(公財)日教弘東京支部



2024年度 弘済会の事業実績をご報告します



東京支部では、教職員の研究助成、奨学事業、教育文化事業等の公益事業（全教職員等対象事業）に約1億1千万円、福祉事業等に約3,600万円、合計で約1億5千万円（全国で約35億円）の支援を実施いたしました。

研究助成事業

- ① 一般研究助成
 - 団体単位 …………… 6団体
 - 学校単位 …………… 192校
 - 個人単位 …………… 11名
- ② 団体教育研究助成 …………… 21団体
- ③ 研究助成奨励金 …………… 8団体
- ④ 教育実践論文 …………… 47名

総額 約3,350万円

奨学奨励事業

- ① 貸与奨学事業
 - 新規貸付数 …………… 15名
- ② 給付奨学事業 …………… 110名
- ③ 大学給付奨学事業 …………… 12名

総額 約4,200万円

教育文化事業

- ① へき地学校教育支援事業 …………… 4校
- ② 弘済会学校図書助成 …………… 250校
- ③ 弘済会花いっぱい運動支援助成
…………… 120校

総額 約3,050万円

福祉事業

- ① 人間ドック受診助成 …………… 487名
- ② 大腸がん予防検査補助 …………… 218名
- ③ 指定宿泊施設利用助成 …………… 440名
- ④ 結婚祝金 …………… 311名
- ⑤ 出産祝金 …………… 617名
- ⑥ 30歳祝品贈呈 …………… 417名
- ⑦ 40歳祝品贈呈 …………… 377名
- ⑧ 60歳祝品贈呈 …………… 422名
- ⑨ 古希記念品贈呈 …………… 295名
- ⑩ 東京ヤクルトスワローズ戦ご招待
…………… 612名
- ⑪ 歌舞伎公演ご招待 …………… 100名
- ⑫ 文楽公演ご招待 …………… 50名
- ⑬ 第九演奏会ご招待 …………… 150名
- ⑭ ミュージカル公演ご招待 …………… 200名
- ⑮ 茂山忠三郎狂言会 …………… 50名
- ⑯ 都響定期演奏会 …………… 500名
- ⑰ ディズニー・オン・クラシック
…………… 200名
- ・友の会事業（名産鍋セット） …… 120名

総額 約3,600万円



2024年度に実施した公益事業 ご報告します

研究助成事業

1	一般研究助成事業〈団体助成〉 計6団体 <ul style="list-style-type: none"> ● 東京都小学校国語教育研究会 ● 東京都高等学校特別活動研究会 ● 東京都公立学校難聴・言語障害教育研究協議会 ● 東京都高等学校家庭学科研究会 ● 東京都高等学校総合学科教育研究会 ● 調布市公立学校事務職員会
2	団体教育研究助成 計21団体 <ul style="list-style-type: none"> ● 東京都公立小学校長会 ● 東京都中学校長会 ● 東京都公立高等学校長協会 ● 東京都立特別支援学校長会 ● 東京都公立小学校副校長会 ● 東京都公立中学校副校長会 ● 東京都公立高等学校副校長協会 ● 東京都立特別支援学校副校長会 ● 東京都退職校長会 ● 東京都公立学校退職教頭・副校長会連合会 ● 東京都公立小中学校事務職員会 ● 東京都立学校事務職員会 ● 東京都教職員組合 ● 東京都高等学校教職員組合 ● 東京都公立学校教職員組合 ● 東京都障害児学校教職員組合 ● 東京都公立学校事務職員組合 ● 東京都庁職員労働組合都立学校支部 ● 東京私立学校教職員組合 ● 東京都養護教諭研究会 ● 東京都立高等学校保健研究会
3	研究助成奨励事業 計8団体 <ul style="list-style-type: none"> ● 美術教育を進める会 ● 東京都小中学校環境教育研究会 ● 日本生活教育連盟 東京サークル ● 全国単位制高等学校長等連絡研究協議会 東京大会実行委員会 ● 東京都小学校学校行事研究会 ● 東京 芽の会 ● 東京都公立小中学校事務職員会 ● 東京都理化教育研究会

奨学事業

1	貸与奨学事業 計15名 <ul style="list-style-type: none"> ● 大学生：14名 ● 専門学校：1名
2	給付奨学事業（高校及び特別支援学校の最終学年、高等専門学校3年次対象） 計110名 <ul style="list-style-type: none"> ● 全日制：73名 ● 中等教育学校：3名 ● 定時制・通信制：25名 ● 高等専門学校：2名 ● 特別支援学校：7名

教育文化事業

1	弘済会花いっぱい運動支援助成事業 120校 <ul style="list-style-type: none"> ● 1校（園）あたりチューリップの球根（450個）
2	弘済会学校図書助成事業 250校 <ul style="list-style-type: none"> ● 1校（園）あたり10万円相当の図書セット
3	教育文化奨励共催事業 <ul style="list-style-type: none"> ● 「ふれあい感謝状21」（公社）東京都教職員互助会との共催
4	へき地学校教育支援事業 計4校 <ul style="list-style-type: none"> ● 御蔵島村立御蔵島小学校 ● 三宅村立三宅中学校 ● 青ヶ島村立青ヶ島小中学校 ● 八丈町立三原中学校

●今からはじめる●

■弘済会特別企画■

セカンドライフ対策セミナーのご案内

将来への備えを考えられている教職員の皆様を対象に「今からはじめるセカンドライフ対策セミナー」を開催します。

参加ご希望の方は下記申込用紙をFAXいただくか、学校担当者にお渡し下さい。

お申込め切 8月18日(月)
※定員に達し次第締切とします。

セミナーの内容

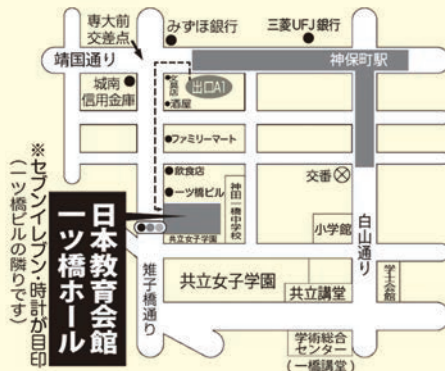
セカンドライフにおけるライフプランニングの考え方
お金の管理方法
健康保険制度や介護保険に関する最新動向
資産運用のポイント(代表的金融商品等)
相続・贈与の基礎知識等

日時

2025年8月22日(金) 14:00~16:00

会場

日本教育会館(8階・第一会議室)
地下鉄「神保町駅」A1出口徒歩5分 図参照



申込用紙 <FAX番号 03-5210-3953>

学校名			職員番号		
フリガナ			ご連絡先	()	
お名前					
ご住所	〒				

お申込み後、直接会場へお越しください。定員等でご参加いただけない場合のみ、ご連絡いたします。

まだまだ先の話と考えている方も早期の準備が大切です。まずは計画のための第1歩として!

個人情報の取り扱い

- 公益財団法人日本教育公務員弘済会東京支部は適正に取得した個人情報を当会の事業運営に必要な範囲で利用します。
- 取得した個人情報は、共済事業(提携保険事業)提携保険会社ジブラルタ生命との間で共同利用します。当会の個人情報保護方針については、公益財団法人日本教育公務員弘済会ホームページをご覧ください。

2025(令和7)年度 教育実践論文集録第4集の表紙写真募集のお知らせ

今年度の「教育実践論文集録」第4集の表紙を飾る写真を募集します。
多くの方のご応募をお待ちしております。

テーマ

東京をイメージできる風景、行事、イベント等の写真(季節は問わない)
※人物が特定できない写真を投稿して下さい。

応募方法

- ◆2L版プリント又はネガ、デジタルカメラのデータ
 - ◆未発表作品に限ります。(著作権・肖像権の侵害の無いようにして下さい)
 - ◆応募作品の著作権は当支部に属します。(作品は返却いたしません)
 - ◆応募用紙に必要事項をご記入いただき作品を同封の上、郵送して下さい。
- ※応募用紙は当支部ホームページ(nitkk.com)で取得できます。

応募め切

2025年12月12日(金) 当日消印有効

発表

「弘済会だより」通刊148号(1月15日発行予定)に掲載。
表紙入選作品には図書カード1万円分を進呈いたします。
(落選者には通知いたしません)

応募先

〒102-0074 千代田区九段南2-3-14 靖国九段南ビル8階
弘済会「教育実践論文集録」係 宛



【参考】

2024(令和6)年度
教育実践論文集録第3集表紙

1 研究助成事業

1 教育実践論文 募集します

主催：公益財団法人 日本教育公務員弘済会東京支部
後援：文部科学省 協賛：株式会社 都教弘

先生方、日頃行っている教育活動を論文にして発表してみませんか？

公益財団法人日本教育公務員弘済会東京支部では、日々の教育の実践内容をまとめた「教育実践論文」を募集し、優れた実践と論文を表彰します。

研究主題 「学校の実態を踏まえ、明日の教育を考える」という立場から応募者が具体的な主題を決め、教育課題に取り組んだ実践内容を論文にまとめて下さい。

募集期間 2025年4月15日(火)～8月20日(水) 当日消印有効

募集対象 都内の国公私立の幼・小・中・高(高等専門学校)・特別支援学校等の教育諸学校に勤務する**教職員個人**及びそれらの人々で組織する**研究グループ**
東京支部長が認めた教育機関等に勤務する教職員個人及びそれらの人々で組織する研究グループ
※一般教育研究助成と同じ内容(一部含む)での重複申請はできません。
※申請は隔年度で1件です。



申請書等 当支部ホームページ(nitkk.com)で取得して下さい。

※論文形式につきましては日教弘ホームページ(www.nikkyoko.or.jp)を参照して下さい。

応募方法 教育実践論文申請書(論文要旨1ページ+論文本文4ページ)を提出して下さい。

選考 教育振興事業選考委員会で審議の上、幹事会の議を経て支部長が入賞等を決定します。「日教弘教育賞」の個人部門は本募集で応募して下さい。

表彰・副賞

種別	表彰	副賞	入賞数
個人部門	最優秀賞	10万円	2編以内
	優秀賞	5万円	5編以内
	優良賞	3万円	20編以内
	奨励賞	1万円	200編以内

日教弘教育賞・個人部門

副賞金額(予定)

最優秀賞：30万円
優秀賞：20万円
優良賞：15万円
奨励賞：5万円

※提出された教育実践論文の中から日教弘本部の文部科学省後援「日教弘教育賞」の個人部門へ最大2編推薦します。

応募先 〒102-0074 千代田区九段南2-3-14 靖国九段南ビル8階
弘済会「教育実践論文」係 宛

2 日教弘教育賞 募集します

主催：公益財団法人 日本教育公務員弘済会
後援：文部科学省

公益財団法人日本教育公務員弘済会では、教職員が教育実践に精励されることを念願し、「日教弘教育実践論文」を募集しています。

募集対象 **学校部門** 国公私立の幼・小・中・高・特別支援・高専等の**各学校**及び**教育機関等**並びにそこに勤務する教育関係者で組織する**教育研究団体**

個人部門 上記の「教育実践論文」で応募して下さい。

選考 学校部門・個人部門合わせて最大3編の論文を選考の上、東京支部から推薦します。

申請書等 当支部ホームページ(nitkk.com)で取得して下さい。

※論文形式につきましては日教弘ホームページ(www.nikkyoko.or.jp)でご確認下さい。

募集期間 2025年8月20日(水) 当日消印有効

応募先 〒102-0074 千代田区九段南2-3-14 靖国九段南ビル8階
弘済会「日教弘教育賞」係 宛



2024年度日教弘教育賞受賞者

をご紹介します

日教弘教育賞は、教育に関する特に有益な研究をなし、学校教育の向上発展に寄与する学校・個人等を表彰・助成するものです。2024年度は、全国から多数の論文が集まる中、東京支部の推薦論文3編（学校部門1編、個人部門2編）が奨励賞を受賞しました。

学校部門 奨励賞

研究主題	ICTを活用した個別最適な学びと協働的な学びの一体化による深い学びの実現
学校名	杉並区立松ノ木小学校（校長 笠原 秀浩）

個人部門 奨励賞

研究主題	個のよさ（輝き）、集団のよさ（輝き）を発見・伸長し合い 地域社会の中で生かせる生徒の育成
所属校 職名・氏名	江戸川区立松江第五中学校 校長 荒巻 淳
研究主題	小学校ブロックチーム担任制を取り入れて、見えてきたもの
所属校 職名・氏名	杉並区立東田小学校 主幹教諭 川田 紘平

敬称略

「ふれあい感謝状21」 を実施します

東京都教職員互助会と
弘済会東京支部の
共催事業

「ふれあい感謝状21」は東京都教職員互助会との教育振興共催事業で、実践活動を通して子ども達の育成に努力を重ね、成果を上げている教職員やグループを応援するものです。

対象

- 東京都内の学校・幼稚園の教職員を構成員に含むグループ
- 東京都内の学校・幼稚園の教職員及びその関係者
- 東京都内の学校における部活動を支援する関係団体（構成員に教職員を含まない外部団体）

※対象とする学校には、大学・短大・専修学校・各種学校は含みません。

対象部門

- 部活動・クラブ活動部門
- 部活動・クラブ活動部門の関係団体（外部団体）
- 体験活動・社会貢献活動部門

表彰・副賞

- 感謝状と副賞を贈呈します。
《副賞（予定）》グループ：18万円、13万円／個人：8万円

詳しくは互助会の機関誌「ふれあい」夏号（7月1日発行）または、互助会ホームページを参照して下さい。
ホームページ <http://www.sanraku.or.jp/gojokai/>

2 奨学事業

2026年度 大学に進学される皆さまへ

大学給付奨学生（予約型） を募集します

月額**3万円**を
4年間

2026年度に大学へ進学される高校3年生を対象に給付奨学候補生の選考を実施いたします。

修学意欲がありながら学資金の支払いが特に困難と認められる者に対して、**大学入学後、返還義務のない奨学金**を給付し、大学への進学及び修学の継続を支援します。（世帯所得に制限があります）

希望の生徒は、募集要項・申請書等を当支部ホームページ（nitkk.com）又は校内掲示でご確認いただき、**学校を通して**お申し込み下さい。

応募資格 東京都内の高等学校等の最終学年または高等専門学校第3学年に在学し、全国の国公立大学（通信教育学部・課程、短期大学、大学校は対象外）に進学を目指す生徒とします。

募集人数 **11名**（全・定の課程や分校を合わせて、申請は1校1名）

給付金額 **月額3万円**（年間36万円、4年間で144万円）

給付期間 **2026年4月から4年間**

（4年制・6年制を問わず、入学1年目から4年目まで）

募集期間 **2025年7月18日（金）～2025年9月5日（金）必着**



2026（令和8）年度 大学に進学予定の皆さまへ

大学給付 奨学生（予約型） を募集します

月給 **3万円**
（年間36万円）

令和7年4月から
給付期間 **4年間**

人数 **11名**

修学意欲がありながら学資金の支払いが特に困難と認められる者に対して、返還義務のない奨学金を給付し、大学への進学及び修学の継続を支援します。（世帯所得に制限があります）

詳細及び希望者は 先生まで
校内届切 月 日

募集期間：令和7年7月18日（金）～9月5日（金）必着
主催 公益財団法人 日本教育公務員弘済会東京支部
〒102-0074 東京都千代田区九段南2-3-14 靖国九段南ビル8階 TEL.03-5210-4201

3 教育文化事業

弘済会花いっぱい運動支援助成 を実施します

助成校
150校（園）

大変ご好評いただいております、「弘済会花いっぱい運動支援助成」を今年度も実施いたします。都内の公立学校（園）に花の球根を贈呈し、栽培活動を通して豊かな情操を育むとともに、学校及び園の環境美化に資することを目的とした事業です。

募集要項は当支部ホームページ（nitkk.com）でご確認下さい。

対象 都内の公立幼稚園・認定こども園、公立小・中学校、公立義務教育学校、公立中等教育学校、公立特別支援学校、都立高等学校

※校種併置校（例：小・中併置校）・課程併置校はいずれか一つの校種で申請して下さい。

助成内容 1校（園）にチューリップとムスカリの球根（合計415球）を贈呈します。

助成校数 150校（園）

お届け時期 11月上旬頃（予定）に当支部の指定業者が直接球根を学校にお届けします。

お受取後は「受領書」をすみやかに当支部宛にご提出下さい。

成果報告 2026年5月29日（金）までに具体的な活動内容を「成果報告書」及び写真等でご提出下さい。
※期限厳守

各種書類 「申請書」「受領書」「成果報告書」につきましては、当支部ホームページ（nitkk.com）より取得して下さい。

応募メ切 **2025年7月15日（火）～2025年8月29日（金）当日消印有効**

応募先 〒102-0074 千代田区九段南2-3-14 靖国九段南ビル8階

弘済会「花いっぱい運動支援」係 宛



2024年度 弘済会花いっぱい運動支援助成校の ご報告をいたします

公立幼稚園・こども園

中央区立豊海幼稚園
新宿区立花園幼稚園

2園

公立小学校

新宿区立落合第五小学校
墨田区立小梅小学校
江東区立東川小学校
江東区立第五大島小学校
江東区立南砂小学校
江東区立豊洲北小学校
品川区立伊藤小学校
品川区立戸越小学校
目黒区立菅刈小学校
目黒区立不動小学校
目黒区立上目黒小学校
目黒区立東根小学校
大田区立馬込小学校
大田区立徳持小学校
大田区立入新井第四小学校
大田区立調布大塚小学校
大田区立北糀谷小学校
大田区立羽田小学校
世田谷区立多聞小学校
世田谷区立上北沢小学校
世田谷区立玉堤小学校
中野区立啓明小学校
中野区立中野第一小学校
杉並区立杉並第九小学校
杉並区立高井戸第三小学校
杉並区立永福小学校
豊島区立池袋本町小学校
北区立十条小学校
荒川区立第三峡田小学校
板橋区立富士見台小学校
板橋区立中根橋小学校
板橋区立弥生小学校
板橋区立緑小学校
練馬区立大泉第四小学校
練馬区立下石神井小学校
練馬区立石神井台小学校
練馬区立光が丘四季の香小学校
足立区立本木小学校
足立区立栗原小学校

足立区立大谷田小学校
足立区立西保木間小学校
足立区立立入谷小学校
葛飾区立堀切小学校
江戸川区立大杉東小学校
江戸川区立宇喜田小学校
八王子市立恩方第二小学校
八王子市立元木小学校
八王子市立横川小学校
立川市立第六小学校
三鷹市立南浦小学校
青梅市立第二小学校
府中市立府中第一小学校
府中市立府中第十小学校
府中市立四谷小学校
昭島市立拝島第三小学校
調布市立上ノ原小学校
小金井市立南小学校
小平市立小平第三小学校
日野市立日野第四小学校
日野市立平山小学校
日野市立南平小学校
国分寺市立第七小学校
国分寺市立第八小学校
狛江市立狛江第五小学校
狛江市立和泉小学校
多摩市立東寺方小学校
多摩市立豊ヶ丘小学校
稲城市立長峰小学校
あきる野市立増戸小学校
西東京市立保谷小学校
西東京市立けやき小学校
御蔵島村立御蔵島小学校

72校

公立中学校

港区立高陵中学校
文京区立第八中学校
墨田区立墨田中学校
品川区立浜川中学校
大田区立大森第三中学校
大田区立蓮沼中学校
世田谷区立桜丘中学校
世田谷区立駒沢中学校
世田谷区立北沢中学校

世田谷区立尾山台中学校
世田谷区立用賀中学校
世田谷区立喜多見中学校
渋谷区立鉢山中学校
中野区立明和中学校
北区立王子桜中学校
北区立桐ヶ丘中学校
練馬区立豊玉中学校
練馬区立貫井中学校
足立区立第十四中学校
葛飾区立亀有中学校
江戸川区立小松川第二中学校
江戸川区立小松川中学校
府中市立府中第一中学校
町田市立成瀬台中学校
東村山市立東村山第三中学校
東村山市立東村山第四中学校
国分寺市立第四中学校
清瀬市立清瀬第二中学校
東久留米市立東中学校
西東京市立田無第一中学校
西東京市立田無第三中学校
西東京市立青嵐中学校
西東京市立柳沢中学校
西東京市立明保中学校

34校

都立高等学校・中等教育学校

東京都立新宿高等学校
東京都立日本橋高等学校
東京都立上野高等学校
東京都立上水高等学校
東京都立久留米西高等学校
東京都立小平高等学校
東京都立若葉総合高等学校

7校

義務教育学校

品川区立八潮学園
品川区立荏原平塚学園

2校

都立特別支援学校

東京都立村山特別支援学校
東京都立八王子西特別支援学校
東京都立八王子南特別支援学校

3校

以上120校



2024年度 弘済会学校図書助成 の贈呈式を行いました



「弘済会学校図書助成事業」では、630校を超える応募をいただき、250校（園）に10万円相当の図書セットを寄贈し、先生方・生徒・児童に大変喜んでいただきました。

校長先生をはじめ諸先生方、生徒の皆さん、弘済会東京支部の参事とジブラルタ生命の学校担当者等で贈呈式を行いました。

今回は250校中143校の様子を写真でご紹介いたします。

なお、紙面の都合上、次号の「弘済会だより147号（秋号）」でも引き続きご紹介する予定です。

1
幼稚園
新刊学習絵本
コース



2
幼稚園
新刊
よみもの絵本
コース



7
小学校
図鑑・辞典
（小学校）
コース



11
中学校
マンガで
学ぶOO
コース



14
高校
戦後80年
戦争と平和を学ぶ
コース

16
特別支援学校
A
コース

17
特別支援学校
B（点字）
コース



千代田区立翹町幼稚園

木村園長 前田先生
古田LC 中嶋先生 深谷先生



中央区立有馬幼稚園

高橋園長（前列右から3番目）
教職員の皆様



港区立芝浦幼稚園

青山園長・小川参事



新宿区立鶴巻幼稚園

常盤LC・北島参事・北原副園長・片岡先生
園児の皆様



新宿区立四谷子ども園

古川園長・北島参事
教職員の皆様



新宿区立戸塚第二幼稚園

北島参事・加藤園長・竹内LC



新宿区立西新宿子ども園

村石LC・北島参事・南園長・柴田副園長



墨田区立立花幼稚園

渡邊先生 宮田園長 福澤LC
星先生 北島参事 中村所長



文京区立窪町小学校

小室副校長 宮出LC
北島参事 金子副校長



文京区立明化小学校

原副校長・佐藤校長・北島参事・木村LC



台東区立石浜小学校

藤井参事・安藤校長



江東区立平久小学校

飯井LC・金岡校長



江東区立辰巳小学校

網中LC・景山校長・藤井参事



江東区立第七砂町小学校

海和LC・中村校長・藤井参事



品川区立後地小学校

北島参事・西川校長・長谷川副校長



品川区立宮前小学校

大塚LC・川内先生・板澤校長・北島参事



品川区立伊藤小学校

北島参事・上野副校長・齊藤校長・奥村LC
教職員の皆様



目黒区立上目黒小学校

並木LC・小川参事・瀬沼校長・井手上副校長
教職員の皆様



大田区立矢口東小学校

高橋LC 雨笠校長
甲斐先生(読書学習司書) 佐々木参事



大田区立池上小学校

杉本LC 外園先生(図書担当) 平林校長
吉野副校長 茂戸藤先生(国語担当)



大田区立田園調布小学校

齊藤LC・本田校長・伊東LC



大田区立東調布第一小学校

神原副校長・菊原校長・佐々木参事



大田区立東調布第三小学校

並木校長・佐々木参事



大田区立矢口小学校

伴LC 関校長 佐々木参事
出口副校長 乙坂先生(読書学習司書)



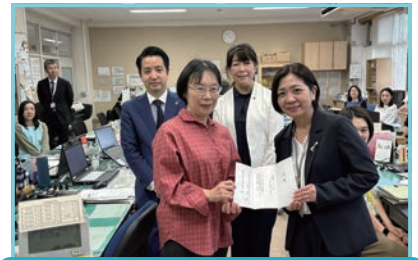
世田谷区立経堂小学校

山崎 LC・根岸先生・青鹿校長・宮城 LC



世田谷区立明正小学校

佐々木参事 栗林校長 栗田副校長
高貝副校長 清塚先生(図書担当) 栗村 LC



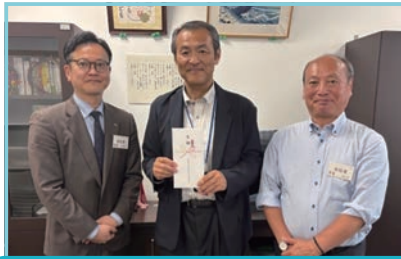
世田谷区立八幡小学校

川村所長・高澤先生・奥村 LC・阪田校長



世田谷区立中里小学校

吉野校長 岡安 LC
佐々木参事 醍醐先生(図書担当)



世田谷区立多間小学校

杉本 LC・平間校長・佐々木参事



世田谷区立松沢小学校

米田 LC・寺崎校長・佐々木参事



世田谷区立代田小学校

鈴木校長 山崎副校長
佐々木参事 吉浦先生(図書担当) 米田 LC



世田谷区立代沢小学校

原田校長・佐々木参事・木村 LC
教職員の皆様



渋谷区立富谷小学校

石川校長・伊藤 LC
教職員の皆様



中野区立中野第一小学校

佐々木参事・三宅校長・土谷 LC



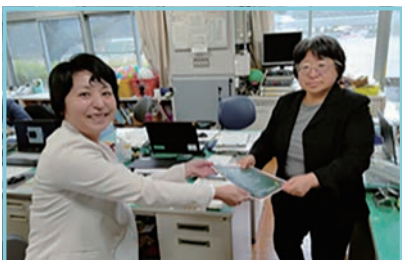
中野区立南台小学校

村田 LC・仲田先生・長尾校長



中野区立啓明小学校

谷口 LC・長井副校長・遠藤校長・佐々木参事
教職員の皆様



杉並区立杉並第十小学校

秋山 LC・塩塚校長



杉並区立方南小学校

吉岡校長 村田 LC
茂呂参事 井口先生(学校司書)



杉並区立沓掛小学校

稲葉 LC・浅見校長・茂呂参事



杉並区立永福小学校

難波校長・齋藤 LC



豊島区立清和小学校

酒井校長・澁谷 LC



北区立柳田小学校

早川副校長 佐藤所長
佐々木参事 春山 LC



北区立八幡小学校

吉田校長・早坂先生



荒川区立第三峡田小学校

川嶋副校長・福留校長・小川参事



板橋区立高島第三小学校

教職員の皆様



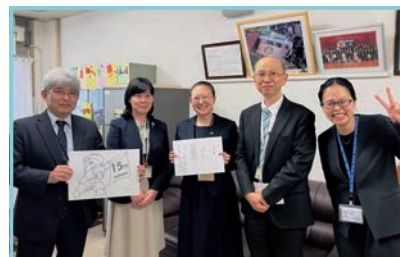
練馬区立北町西小学校

風見校長・柳町 LC



練馬区立橋戸小学校

青木校長・柳町 LC



練馬区立光が丘四季の香小学校

繁田校長 小川参事
岡田副校長 永井先生 陳 LC



練馬区立石神井台小学校

町田校長・内田副校長



足立区立梅島第一小学校

落合校長・木村 LC



足立区立梅島第二小学校

星先生・竹花校長



足立区立大谷田小学校

宮野先生・菅原校長・森島 LC・谷井副校長



足立区立足立入谷小学校

信田校長・榎本副校長



足立区立千寿双葉小学校

村松校長・小野 ASM



足立区立新田小学校

小坂校長・生徒さん・茂呂参事



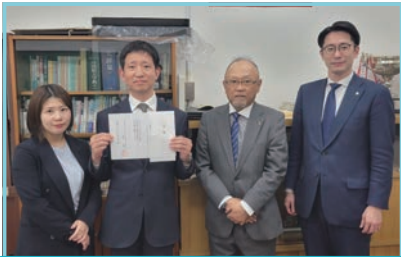
足立区立舎人第一小学校

宮下先生・羽生副校長・土屋校長



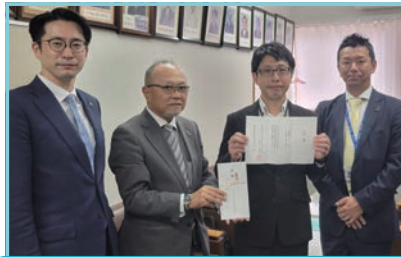
足立区立古千谷小学校

神谷さん 石川先生 茂呂参事
(図書支援員) 康LC 吉川校長



葛飾区立松上小学校

近澤LC・中村校長・北島参事・中村所長



葛飾区立宝木塚小学校

中村所長・北島参事・飯守副校長・福澤LC



葛飾区立上千葉小学校

中村所長 宮原校長 折田副校長
北島参事 平田司書 佐藤LC



葛飾区立原田小学校

望月先生(学校司書)・三宅校長・北島参事・菅野LC
学校地域応援団の皆様



葛飾区立細田小学校

菅野LC・北島参事・矢吹校長・藤田副校長



葛飾区立中之台小学校

北島参事・宮田校長・戸田LC



葛飾区立花の木小学校

田村LC 田代校長
北島参事 大曾根副校長



江戸川区立鹿本小学校

藤井参事・奥村校長・飯野副校長・薄葉LC



江戸川区立本一色小学校

薄葉LC・末松校長・藤井参事



江戸川区立船堀第二小学校

則岡校長・佐々木先生・野口LC



江戸川区立平井西小学校

長橋LC 藤澤校長
大久保先生 石田副校長

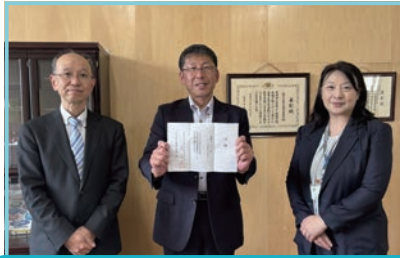


八王子市立由木東小学校

菅原LC・溝口先生・鈴木校長・三堀先生



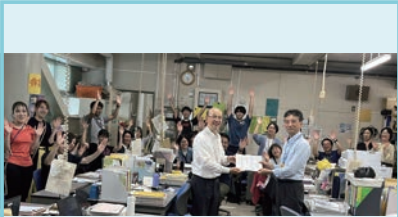
八王子市立恩方第一小学校
佐藤校長・村岡ASM・田中LC・山森副校長



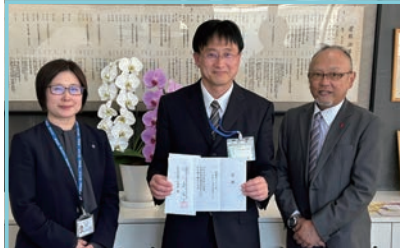
八王子市立陶鎔小学校
小川参事・中野校長・久保田副校長



八王子市立第七小学校
小川参事・大江先生・土屋校長・齊藤先生



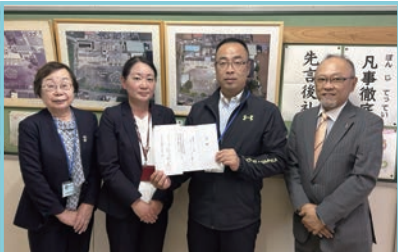
八王子市立第五小学校
小川参事・西村校長・教職員の皆様



立川市立第一小学校
須賀LC・神田校長・北島参事



立川市立第九小学校
菅原LC・押本校長・北島参事
教職員の皆様



立川市立西砂小学校
明石LC・阿部副校長・丸山校長・北島参事



青梅市立新町小学校
工藤LC・北島参事・塚田校長・図書担当の先生2名
教職員の皆様



府中市立若松小学校
生井校長・茂呂参事



府中市立四谷小学校
島田校長・茂呂参事



昭島市立玉川小学校
中山LC・小瀬校長・茂呂参事



昭島市立富士見丘小学校
中山LC・稲垣校長・茂呂参事



町田市立町田第五小学校
山下先生・米山校長・福本LC・高橋所長



小金井市立前原小学校
畠中LC・小柳校長



小平市立小平第三小学校
牧田校長・藤井参事



小平市立小平第九小学校

米持校長・藤井参事



日野市立仲田小学校

小川参事・山本校長・森山副校長・大井LC



日野市立日野第五小学校

石川校長・須賀LC



日野市立日野第七小学校

畠中LC・大西校長・大澤副校長



東村山市立久米川小学校

藤井参事・小坂橋校長・大坂間LC



東村山市立南台小学校

藤井参事・古屋LC・寺井校長・教職員の皆様



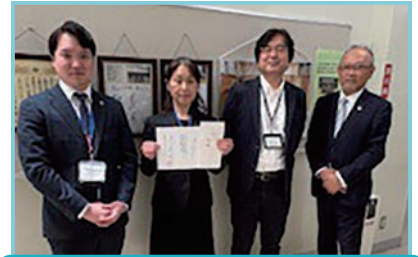
東村山市立大岱小学校

古屋LC・小田副校長・野坂校長・藤井参事



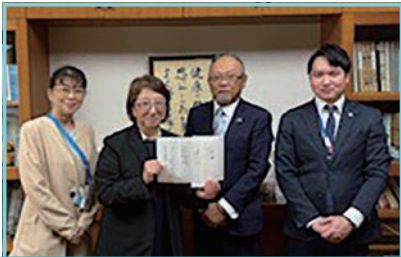
福生市立福生第七小学校

北島参事(写真左)・山田副校長(写真中央男性)
村上LC(写真右)・教職員の皆様



清瀬市立芝山小学校

下田LC・榎並校長・川島副校長・北島参事



清瀬市立清瀬第七小学校

千田副校長・吉田校長・北島参事・下田LC



東久留米市立第一小学校

石黒LC・佐藤校長・藤井参事



稲城市立稲城第六小学校

佐々木参事 加藤校長 菊池先生
横室先生(司書) 富永先生



稲城市立若葉台小学校

坂倉先生・遠藤副校長・福本LC



あきる野市立増戸小学校

時計校長・木崎LC



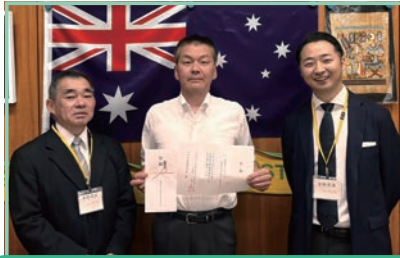
西東京市立けやき小学校

内田LC・北島参事・前田校長・高原副校長



西東京市立田無小学校

伊藤 LC・鈴木校長・佐々木参事・山崎 LC



中央区立晴海中学校

岸川参事・藤江校長・飯井 LC



新宿区立牛込第二中学校

岡本先生・小泉校長・石井 LC・岸川参事



文京区立茗台中学校

今野校長・伊藤 LC
教職員の皆様



江東区立深川第七中学校

岸川参事・伊藤校長・土屋 LC



江東区立深川第八中学校

小原司書 齊藤校長 石津参事
根本副校長 土屋 LC



品川区立東海中学校

高橋副校長 蜂屋校長
渡邊参事 田口先生(国語担当) 高村 LC



目黒区立第十中学校

本多 LC・安藤校長・糸川先生(図書担当)



大田区立雪谷中学校

中田 LC・柳校長・渡邊参事



大田区立大森第一中学校

渡邊参事・高橋校長・増田副校長・安藤 LC



大田区立貝塚中学校

渡邊参事・今井 LC・辻本先生・柳井校長



世田谷区立世田谷中学校

浅沼先生(図書担当)・前田校長・渡邊参事



杉並区立東田中学校

渡邊 LC 鳥居校長 矢田副校長
石津参事 後藤司書



杉並区立和田中学校

金子 LC・村山校長・近藤副校長



北区立王子桜中学校

石津参事・阿久津校長



練馬区立三原台中学校

野村副校長・山崎校長・石津参事・久保 LC



練馬区立光が丘第三中学校

荒井先生・榮田校長・柳町 LC



足立区立東島根中学校

大瀧校長 宮崎副校長
成田 LC 直井先生(司書)



足立区立千寿桜堤中学校

岸川参事 齋藤校長 柴岡先生
木村 LC 高橋先生



八王子市立恩方中学校

田中 LC・早川副校長・村岡 ASM



府中市立府中第六中学校

渡邊参事・佐藤校長・星野先生・森 LC
教職員の皆様



昭島市立福島中学校

前川校長・木崎 LC



町田市立町田第二中学校

知見 LC・高橋校長・吉浦副校長



日野市立大坂上中学校

中村先生・馬場校長・スミス LC



日野市立日野第三中学校

伴校長・中山 LC・糸井副校長



東村山市立東村山第三中学校

荒井校長 伊藤司書
小山 LC 青柳副校長 渡邊参事



東村山市立東村山第七中学校

渡邊参事 阿久津校長
松田副校長 小山 LC



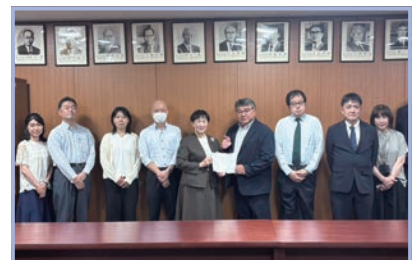
武蔵村山市立第三中学校

渡邊参事・飯星校長・光岡 LC



あきる野市立秋多中学校

高橋校長・石津参事・木崎 LC



東京都立大森高等学校

古屋先生(図書館専門員) 大井川先生(司書) 池田校長 西田先生(図書館専門員) 伊藤 LC
竹熊先生(司書) 山田副校長 清水参事 松永副校長



東京都立日比谷高等学校

高島LC 萩原校長 町田副校長
関根先生 清水参事



東京都立小岩高等学校

清水参事・柴瀬副校長・近澤LC



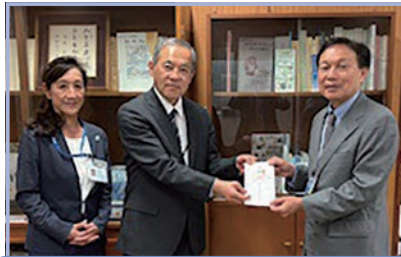
東京都立南平高等学校

水島校長 荒木先生 津田先生
鈴木先生 江内先生 藤本LC



東京都立上水高等学校

村田LC 鈴木校長 糸井参事
横山副校長 清水参事



東京都立砂川高等学校

内田LC・大場校長・糸井参事



東京都立荻窪高等学校

常盤LC・玉井校長・清水参事



東京都立農産高等学校

伊藤LC・金子副校長・清水参事



東京都立八王子西特別支援学校

糸井参事・上田副校長・山脇ASM



東京都立鹿本学園

糸井参事・堀江校長



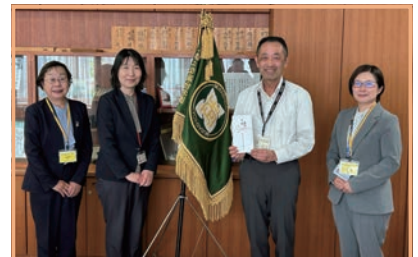
東京都立久我山青光学園

宮田校長 糸井参事
堀越副校長 月崎副校長



東京都立志村学園

並木校長 糸井参事 長澤LC
生徒会の皆様



東京都立武蔵台学園府中分教室

明石LC・田中先生・金子校長・須賀LC



東京都立立川学園

市川校長・明石LC・畠中LC



東京都立光明学園

島添統括校長・山崎LC



令和6年度より福祉事業参加資格が 変更となりました。

**教弘保険（提携保険会社 ジブラルタ生命保険）にご加入いただいている
教職員だけが参加・活用いただける事業です。**

※研究助成事業・奨学事業・教育文化事業といった公益事業は、教弘保険加入の有無は問いません。

公益財団法人日本教育公務員弘済会は、教弘保険（以下参照）の契約者配当金により、各種の事業を展開しています。

令和4年度より公益財団法人日本教育公務員弘済会の会員制度規程が変更されました。それに伴い、東京支部においても、福祉事業（友の会）参加資格（入会資格）及び助成内容等が変更となり、「弘済会だより」140号から「友の会だより」は統合されました。

福祉事業（友の会）の参加資格

以下の教弘保険加入者が対象となります

新教弘保険 A型・B型	ユース教弘保険	新教弘保険 S型
新教弘保険 K型	旧教弘保険（第1種教弘保険・第4種教弘保険）	

※教弘保険のご加入の有無については、ジブラルタ生命の学校担当者もしくは弘済会東京支部（☎03-5210-4201）までお問い合わせ下さい。

※都教弘損害保険部で取り扱っている保険についても対象外となります。
（対象外：自動車保険・火災保険・公務員賠償責任保険・教弘まなびやスーパープラン・教弘フルガード・教職員収入ロングウェイサポート）

令和6年度より友の会入会基準が 変更となりました。

都教弘友の会とは、ご退職後も教弘保険のご加入を継続されている皆様に、引き続き弘済会東京支部の事業を受けていただける制度です。友の会会員の方につきましては、ご自宅に弘済会だよりをお送りします。

教弘保険のご加入を継続されている方は66歳を迎える年度初めに友の会会員へ切り替わります。

入会金・年会費無料で、入会手続きの必要はございません。

教弘保険をご加入いただいている間のみ友の会事業にご参加いただけます。

教弘保険加入者

～ 65 歳	66 歳～ 80 歳
<p>学校現場にお勤めの方は現職者扱い</p> <p>※早期退職等で弘済会だよりが届かなくなる場合は、お申し出いただければ、友の会申込ハガキをお送りします。上記の理由で友の会会員となった方でも、学校現場へのお勤めが確認できた場合、友の会は脱退となります。</p>	<p>66歳を迎える年度初めに自動で 友の会会員へ 現職含む</p>

※教弘保険が消滅（満期や解約等）されると、友の会も脱退となります。

※再任用等でお勤めを続けている場合も友の会会員となります。

※友の会に入会を希望されない場合はお申し出下さい。

1 ディズニー・オン・クラシック ご招待します

200名様

日本最大規模のオーケストラ・ツアー!ディズニーの輝く名曲の数々を、オーケストラとヴォーカリストの生演奏でお贈りいたします。「Circle of Life ~愛を感じて」をテーマに、アニメーション映画『ライオン・キング』をフィーチャーします。

・『ディズニー・オン・クラシック ~まほうの夜の音楽会 2025』

日時: 2025年11月8日(土) 14時開演

会場: 東京国際フォーラム ホールA

詳しくは公式HP (<https://www.harmonyjapan.com/doc2025/>) をご覧下さい。

※出演者・曲目等が変更となる場合があります。

応募資格 **教弘保険加入者** (友の会会員含む) ※P.27参照

応募方法 郵便はがき(または私製はがきを封筒に入れて郵送でも可)に必要事項を全てご記入の上、応募先宛に**郵送**して下さい。**はがき1枚には1公演名**のみ記入して下さい。

※同一公演に**重複の応募**や**記入もれ**等不備があった場合は**無効**となりますのでご注意ください。

応募メ切 **2025年8月29日(金) 当日消印有効**

抽選結果 チケットの発送をもって通知いたします。

※当選チケットの転売は固くお断りいたします。

応募先 〒102-0074 千代田区九段南2-3-14 靖国九段南ビル8階
弘済会「ディズニーオンクラシック」係 宛



Presentation licensed by Disney Concerts. ©Disney

はがき記入事項

1. 公演名
2. 希望枚数(2枚まで)
3. 氏名(フリガナ)
4. 生年月日(西暦)
5. 〒・自宅住所
6. 自宅または
携帯電話番号
7. 現在の勤務校名
(現職者のみ)
8. **職員番号** または
友の会会員番号(必ず)*

※友の会会員番号は、現職時の8桁の職員番号です。
●表紙下欄の「個人情報の取扱について」に同意の上、ご応募下さい。



2 茂山忠三郎狂言会 ご招待します

50名様

国立能楽堂で開催される、忠三郎狂言会の脇・中正面指定席に50名様をご招待します。

・「佐渡狐」「伊文字」「重喜」

日時: 2025年10月19日(日) 14時開演

会場: 東京国立能楽堂

※出演者等が変更となる場合があります。

応募資格 **教弘保険加入者** (友の会会員含む) ※P.27参照

応募方法 郵便はがき(または私製はがきを封筒に入れて郵送でも可)に必要事項を全てご記入の上、応募先宛に**郵送**して下さい。**はがき1枚には1公演名**のみ記入して下さい。

※同一公演に**重複の応募**や**記入もれ**等不備があった場合は**無効**となりますのでご注意ください。

応募メ切 **2025年8月29日(金) 当日消印有効**

抽選結果 チケットの発送をもって通知いたします。

※当選チケットの転売は固くお断りいたします。

応募先 〒102-0074 千代田区九段南2-3-14 靖国九段南ビル8階
弘済会「狂言会」係 宛



はがき記入事項

1. 公演名
2. 希望枚数(2枚まで)
3. 氏名(フリガナ)
4. 生年月日(西暦)
5. 〒・自宅住所
6. 自宅または
携帯電話番号
7. 現在の勤務校名
(現職者のみ)
8. **職員番号** または
友の会会員番号(必ず)*

※友の会会員番号は、現職時の8桁の職員番号です。
●表紙下欄の「個人情報の取扱について」に同意の上、ご応募下さい。



4 福祉事業

3 都響の演奏会 ご招待します

100名様

東京都交響楽団の演奏会A席に100名様をご招待します。
今回は2025年10月公演分の募集となります。



会場：東京芸術劇場コンサートホール

公演日	時間	演目
10月19日 日曜日 都教スペシャル	14時開場 15時開演	【創立60周年記念】都響スペシャル「すぎやまこういちの交響宇宙」 指揮：大野 和士 ヴァイオリン：矢部 達哉* 合唱：新国立劇場合唱団** すぎやまこういち：カンタータ・オルビス** ヴァイオリンのための小協奏曲《日本の風》* ヴァイオリンのための《神秘的な静寂》* 交響曲《イデオン》

※出演者・曲目等が変更となる場合があります。

応募資格 教弘保険加入者（友の会会員含む）※P.27参照

応募方法 郵便はがき（または私製はがきを封筒に入れて郵送でも可）に必要事項を全てご記入の上、応募先宛に郵送して下さい。はがき1枚には1公演日（希望枚数2枚まで）のみ記入して下さい。

※同一公演に重複の応募や記入もれ等不備があった場合は無効となりますのでご注意ください。

応募メ切 2025年8月29日（金）当日消印有効

抽選結果 チケットの発送をもって通知いたします。

※当選チケットの転売は固くお断りいたします。



応募先 〒102-0074 千代田区九段南2-3-14 靖国九段南ビル8階
弘済会「都響演奏会」係 宛

はがき記入事項

1. 演奏会公演日
2. 希望枚数（2枚まで）
3. 氏名（フリガナ）
4. 生年月日（西暦）
5. 〒・自宅住所
6. 自宅または携帯電話番号
7. 現在の勤務校名（現職者のみ）
8. 職員番号 または友の会会員番号（必ず）*

※友の会会員番号は、現職時の8桁の職員番号です。
●表紙下欄の「個人情報の取扱について」に同意の上、ご応募下さい。

4 都響の第九 ご招待します

計150名様

東京都交響楽団の第九A席に3日間計150名様をご招待します。



曲 目：ベートーヴェン「交響曲第9番」二短調 op.125 《合唱付》

指 揮：サッシャ・ゲツェル 合 唱：新国立劇場合唱団

独 唱：ソプラノ／森谷 真理 メソソプラノ／小林 由佳 テノール／チャールズ・キム バリトン／加来 徹

※出演者・曲目等が変更となる場合があります。

記号	A	B	C
会場	東京芸術劇場	東京文化会館	サントリーホール
ご招待日	12月24日（水）14時開演	12月25日（木）19時開演	12月27日（土）14時開演

応募資格 教弘保険加入者（友の会会員含む）※P.27参照

応募方法 郵便はがき（または私製はがきを封筒に入れて郵送でも可）に必要事項を全てご記入の上、応募先宛に郵送して下さい。はがき1枚には1招待日（希望枚数2枚まで）のみ記入して下さい。

※1日のみの応募とし、同一ご招待日に重複の応募や記入もれ等不備があった場合は無効となりますので、ご注意ください。

応募メ切 2025年8月29日（金）当日消印有効

抽選結果 チケットの発送をもって通知いたします。

※当選チケットの転売は固くお断りいたします。



応募先 〒102-0074 千代田区九段南2-3-14 靖国九段南ビル8階
弘済会「第九」係 宛

はがき記入事項

1. 招待希望日・記号
2. 希望枚数（2枚まで）
3. 氏名（フリガナ）
4. 生年月日（西暦）
5. 〒・自宅住所
6. 自宅または携帯電話番号
7. 現在の勤務校名（現職者のみ）
8. 職員番号 または友の会会員番号（必ず）*

※友の会会員番号は、現職時の8桁の職員番号です。
●表紙下欄の「個人情報の取扱について」に同意の上、ご応募下さい。

現職の教職員の皆様だけがご加入できます！

教弘保険

低廉な
保険料率

集団契約特約を付加することにより、低廉な保険料で高額な保障が得られます。
性別・年齢に関係ない一律の保険料となっています。

34歳以下の方に

ユース教弘保険

災害割増特約付
集団契約特約付勤労保険

30口の場合【月払い保険料】

加入例

4,539円

保険料払込期間
39歳まで

死亡保険金
高度障害給付金

3,000万円

災害割増
特約

900万円

35歳以上の方に

新教弘保険A型

集団契約特約付勤労保険

30口の場合【月払い保険料】

加入例

10,530円

保険料払込期間
65歳まで

死亡保険金
高度障害給付金

3,000万円

どちらも
教職員専用で
オススメです

*新教弘保険A型の加入年齢は35歳～60歳です。

*この保険に満期保険金はありません。

*この資料は当社商品の概要を説明するための補助的資料です。詳しくは、ジブラルタ生命のLC(ライフプラン・コンサルタント)にお問い合わせの上、必ず「契約概要」「注意喚起情報」「ご契約のしおり・約款」をご確認ください。

*記載内容は2025年7月1日現在のものであり、今後変更されることがあります。

ジブラルタ生命ではビデオ通話を利用した
オンライン対面による
コンサルティングサービス
を実施しています！



安全 / 安心 新型コロナウイルス感染症の予防の観点から、安心してご利用いただけます！

簡単 / 便利 家族と一緒に説明をお聞きいただけます！ご都合に合わせてご自宅からでも受けられます！



お客さまにご用意いただくもの

- PC、スマートフォン、タブレット端末
- インターネット接続環境

*ビデオ通話ではデータ通信が発生しますので、ご自宅でWi-Fi等に接続して利用されることを推奨します。



共済事業に関するお問い合わせは

共済事業(提携保険事業)提携会社

ジブラルタ生命保険株式会社

教職員専用ダイヤル：0120-37-9419

新しくリニューアルされました！



教職員業務の遂行に起因した**損害賠償請求**に！

2025年8月～2026年7月
加入のご案内

公益財団法人日本教育公務員弘済会 団体保険

教弘まなびや 〔教職員賠償責任保険〕



教職員個人が訴えられることも…

■授業中に生徒がケガ、先生個人に損害賠償請求。

損害賠償金 お見舞金



■生徒を注意したら人格権の侵害と訴訟を起こされる。

争訟費用 損害賠償金



■卒業アルバムの校正に誤りがあり、追加費用を負担した。

損失を補填する費用



- 1** 教職員個人の**争訟費用**(弁護士費用等)および**損害賠償金**を補償！
- 2** **初期対応費用**も補償！
(身体障害を被った被害者への見舞金等)
- 3** **遡及補償** 初年度加入日より前に行った行為に起因する請求も補償！
- 4** **延長補償** 教職員でなくなった後になされた請求についても**5年間**補償！
- 5** **NEW!** 卒業アルバムの校正ミスなどの教職員業務で**個人が負担せざるを得なかった費用**を補償！

自動更新 **2025年8月1日始期** 2025年8月1日午後4時～
2026年8月1日午後4時(1年間)

中途加入の補償期間 毎月20日締切で、
締切日の翌月1日午前0時～2026年8月1日午後4時

募集期間 2025年6月1日(日)～2026年6月20日(土)

WEB 加入手続きは
こちらから

<https://nikkyoko-sompo.jp>



加入者(=被保険者)資格について

(公益財団法人 日本教育公務員弘済会の会員で、以下に該当する方)

公立学校、国立学校および私立学校の教職員*
[ご注意] 教育委員会・教育事務所の職員の方は、
被保険者になれません。

*「教職員」とは、学校教育法に規定する学校の校長
および教員ならびに部活動を指導する教育関係の
職員等

教弘まなびや〔教職員賠償責任保険〕

保険金額(支払限度額)

	タイプ名	Mタイプ
賠償責任(教職員業務中)	他人の身体の障害、他人の財物の損壊、人格権侵害等に起因する賠償責任、争訟費用	1請求・保険期間中 / 1億円
	初期対応費用	1事故 / 100万円
	訴訟対応費用	1請求 / 100万円
	損失を補填する費用	1事故 / 10万円

年払保険料:6,240円
中途加入保険料はパンフレットでご確認ください。
※9月1日始期以降、中途加入される場合は、保険始期日までに指定口座への保険料の振込が必要です。
保険期間中に教職員でなくなった場合、教職員賠償責任保険は不要となりますので取扱代理店までお問い合わせください。

2025年2月作成 募集文書番号24T-002273



もっと詳しい内容を
知りたい方は、
こちらのパンフレットを
ご覧ください

このご案内は、「教職員賠償責任保険」の概要について説明したものです。保険の内容は、パンフレットをご覧ください。詳細は団体が保有する保険約款になりますが、ご不明な点がありましたら、代理店または引受保険会社 東京海上日動火災保険㈱におたずねください。ご加入に際しては、必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。

公益財団法人 日本教育公務員弘済会
<https://www.nikkyoko.or.jp/>

公益財団法人 日本教育公務員弘済会東京支部
取扱代理店 都教弘損害保険部
(株式会社 都教弘)

TEL 0120-88-4204 FAX 0120-66-3957
(<https://tokyoko.jp/>)
〒102-0074 東京都千代田区九段南2-3-14 靖国九段南ビル8F

新しくリニューアルされました!



教育業務遂行中、日常生活の事故やトラブルに!

2025年8月～2026年7月
加入のご案内

公益財団法人日本教育公務員弘済会 団体保険

教弘まなびや 〔団体総合生活保険〕



(団体総合生活保険)
団体割引・損害率による割引あわせて

約 **37%** 割引

※天災危険補償部分の保険料は、
団体割引のみ適用となります。

1 ご本人のケガを入院・通院 1 日目から補償します。

学校行事中等のケガは倍額補償!

※天災(地震もしくは噴火またはこれらによる津波)によるケガについても補償します。
(特定学校行事中・宿泊旅行中・通勤途上等)

2 生徒の見舞い費用も補償!

(生徒がケガにより死亡または15日以上継続して入院した場合の入院見舞金、弔慰金等)

3 携行品損害・救済者費用等も補償!

4 示談交渉サービス付帯(国内のみ)

ご本人およびご家族の日常生活での
賠償事故を補償!

(国内で他人から預かった物等を損壊した場合の賠償事故も補償)

■自転車で他人にケガをさせる。

損害賠償金

自転車条例にも対応!

示談交渉サービス付帯
(国内のみ)

■部活動指導中にケガをする。

治療費



自動更新 2025年8月1日始期 2025年8月1日午後4時～2026年8月1日午後4時(1年間)

中途加入の補償期間 毎月20日締切で、締切日の翌月1日午前0時～
2026年8月1日午後4時

募集期間 2025年6月1日(日)～2026年6月20日(土)

WEB 加入手続きは
こちらから
<https://nikkyoko-sompo.jp>



加入者資格

(公益財団法人日本教育公務員弘済会の会員で、以下に該当する方)

- ① 公立学校の教職員
- ② 国立学校および私立学校の教職員
- ③ 教育委員会の職員
- ④ 教職員団体の役員及び職員
- ⑤ 日教弘および練日教弘の本部および各県の職員
- ⑥ ①～⑤の退職者

被保険者になれる方の範囲

(公益財団法人日本教育公務員弘済会の会員で、以下に該当する方)

- ① 公立学校の教職員
 - ② 国立学校および私立学校の教職員
- 【ご注意】教育委員会・教育事務所の職員の方は、被保険者になれません。
※「教職員」とは、学校教育法に規定する学校の校長および教員ならびに部活動指導する教育関係の職員等

教弘まなびや(団体総合生活保険)保険金額(支払限度額)・保険料例

(年齢に関わらず保険料は一律です)

		※職種別Aの保険料です	
タイプ名		MAタイプ	MBタイプ
傷害(ご自身のケガ)	死亡・後遺障害	100万円 (200万円)	650万円 (1,300万円)
	重度後遺障害	100万円	650万円
	入院日額	3,200円 (6,400円)	6,400円 (12,800円)
	通院日額	1,800円 (3,600円)	3,600円 (7,200円)
	生徒見舞費用(1事故1生徒につき)	生徒が死亡(傷害) 3万円限度 生徒が15日以上継続入院(傷害) 1万円限度	
賠償責任	日常生活	国内/無制限、国外/1億円	
	他人の身体の障害、他人の財物の損壊に起因する賠償責任、争訟費用等		
携行品損害(免責金額1事故3千円)	20万円	30万円	
救済者費用等	500万円		
保険料	タイプ名	MAタイプ	MBタイプ
	8月1日加入	10,230円	22,600円
	9月1日加入	9,360円	20,710円
	10月1日加入	8,530円	18,840円
	11月1日加入	7,670円	16,970円
	12月1日加入	6,810円	15,060円
	1月1日加入	5,970円	13,210円
2月1日加入	5,130円	11,320円	
3月1日加入	4,240円	9,390円	
4月1日加入	3,410円	7,530円	
5月1日加入	2,550円	5,650円	
6月1日加入	1,700円	3,740円	
7月1日加入	860円	1,890円	

- 手術保険金のお支払い額は、入院保険金日額の10倍(入院中の手術)または5倍(入院中以外の手術)となります。傷の処置や抜歯等お支払いの対象外の手術があります。
- 特定学校行事中・宿泊旅行中・通勤途上の事故については、死亡・後遺障害保険金、入院保険金、手術保険金、通院保険金は、倍額補償(例えばMAタイプ通常3,200円の入院保険金日額が、6,400円)となります。
- 保険期間中に教職員でなくなった場合、団体総合生活保険(まなびや)における「特定学校行事中傷害の賠償支払」、「生徒見舞費用」に係る補償は不要となりますので取扱代理店までお問い合わせください。



もっと詳しい内容を
知りたい方は、
こちらのパンフレットを
ご覧いただけます

この案内は、「団体総合生活保険(まなびや)」の概要について説明したものです。保険の内容は、パンフレットをご覧ください。詳細は団体が保有する保険約款により、ご不明な点がございましたら、代理店または引受保険会社東京海上日動火災保険㈱におたずねください。ご加入に際しては、必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。

公益財団法人 日本教育公務員弘済会
<https://www.nikkyoko.or.jp/>

2025年3月作成 募集文書番号24T-002273

公益財団法人 日本教育公務員弘済会東京支部
取扱代理店 都教弘損害保険部
(株式会社 都教弘)

TEL 0120-88-4204 FAX 0120-66-3957
(<https://tokyoko.jp/>)
〒102-0074 東京都千代田区九段南2-3-14 靖国九段南ビル8F

新しくリニューアルされました!

日常生活のケガやトラブルに。

公益財団法人日本教育公務員弘済会 団体保険

教弘フルガード (団体総合生活保険)

教職員退職者やご家族の方もお得な団体割引でご加入いただけます。

1 ご自身のケガ [傷害補償] ■調理中に火傷した ■自転車で転倒して骨折した ■階段から落ちてケガをした	2 相手への補償 [個人賠償責任補償] ■家族が自転車で他人にケガをさせた ■飼いが他人に噛みついてケガをさせた 自転車条例にも対応! 示談交渉サービス付帯(国内のみ)
3 持ち物の補償 [旅行品損害] ■旅行先でカメラを落とした ■ゴルフプレー中にゴルフクラブを破損した	4 費用の補償 [救護者費用等] ■船舶で遭難、救助のヘリコプターに助けられた ■旅行中にケガで緊急入院することになり、家族が現地に駆けつけた

加入者資格

公益財団法人日本教育公務員弘済会の会員で、以下に該当する方

- ① 公立学校の教職員 ② 国立学校および私立学校の教職員
 - ③ 教育委員会の職員 ④ 教職員団体の役員及び職員
 - ⑤ 日教弘および株日教弘の本部および各県の職員 ⑥ ①～⑤の退職者
- ※「教職員」とは、学校教育法に規定する学校の校長および教員ならびに部活動を指導する教育関係の職員等

会員のご家族の方も教弘フルガードに
お得な団体割引適用にてご加入いただけます!

教弘フルガードの被保険者になれるご家族の範囲

- ① ご加入者の配偶者 ② ご加入者の子、親、兄弟
 - ③ ご加入者と同居している親族(*)
- (*) 親族とは加入者の6親等以内の血族または3親等以内の姻族

2025年8月～2026年7月
加入のご案内

約**37%**割引
*天災危険補償部分の保険料は、団体割引のみ適用となります。



もっと詳しい内容を知りたい方は、こちらのパンフレットをご覧いただけます。

公益財団法人 日本教育公務員弘済会
<https://www.nikkyoko.or.jp/>

自動更新 2025年8月1日始期 2025年8月1日午後4時～2026年8月1日午後4時(1年間)

中途加入の補償期間 毎月20日締切で、締切日の翌月1日午前0時～

2026年8月1日午後4時
募集期間 2025年6月1日(日)～2026年6月20日(土)

WEB 加入手続きは
こちらから
<https://nikkyoko-sompo.jp>



2025年2月作成 募集文書番号24T-002273

働けなくなったときの収入の減少に!

公益財団法人日本教育公務員弘済会 団体保険

教職員のみなさま専用の団体長期障害所得補償

教職員収入ロングウェイサポート (団体総合生活保険)

もし、ケガや病気で働けなくなったら…

収入が減少しても、支払いは続くよ…

治療費 生活費 教育費 家賃 住宅ローン

● 病気休職者のうち約75%が精神疾患による休職です。
● 精神疾患に加え「アルツハイマー病等の認知症」により働けなくなった場合に収入を**最長5年間**補償します。

認知症・メンタル疾患補償特約 [全件付帯]
認知症・メンタル疾患への補償も充実!

● 病気休職者 225,000円 (25.6%)
● 精神疾患による「アルツハイマー病等の認知症」により働けなくなった場合 65,390円 (74.3%)

介護と仕事の両立支援特約 [免責期間0日!][オプション]
働きながらの介護を支援します!
■働きながら介護に従事する人 ■介護による離職者数

増加 365万人
増加 8.0万人
増加 1.7万人
増加 2.6万人

平成24年度 平成25年度 平成26年度 令和2年度
(国勢調査「介護に従事する就業形態」より) (労働力調査「介護に従事する就業形態」より) (労働力調査「介護に従事する就業形態」より) (労働力調査「介護に従事する就業形態」より)

近年、働きながら介護に従事する人が急増しています。介護休業や短時間勤務中の収入を**最長1年間**補償することで、仕事と介護の両立をサポートします。

加入資格 1. 公立学校の教職員 2. 国立学校及び私立学校の教職員
※上記に該当する保険期間開始時満59歳以下の方で、公益財団法人日本教育公務員弘済会の趣旨に賛同いただいた方(会員)となります。

自動更新 2025年8月1日始期 2025年8月1日午後4時～2026年8月1日午後4時(1年間)

中途加入の補償期間 毎月20日締切で、締切日の翌月1日午前0時～

2026年8月1日午後4時
募集期間 2025年6月1日(日)～2026年6月20日(土)

加入をご希望の方は、こちらから
申込書類のご請求をお願いします。
<https://www.nikkyoko.or.jp/environment/welfare/contact/>



2025年2月作成 募集文書番号24T-002273

公益財団法人 日本教育公務員弘済会東京支部
取扱代理店 都教弘損害保険部
(株式会社 都教弘)

TEL 0120-88-4204 FAX 0120-66-3957
(<https://tokyoko.jp/>)
〒102-0074 東京都千代田区九段南2-3-14 靖国九段南ビル8F

「たすけあい」の輪を広げよう。

日教弘をサポートする会員を募集しています。

日教弘クラブオフとは、会員の皆様の福利厚生を総合的にサポートすることを目的とした会員限定の優待サービスです。宿泊やグルメなど休日を充実させるメニューや、日常生活の中で役立つメニューなど、国外20万ヶ所以上の施設で割引などの特典をご用意しています。

優待サービスの一例

●日教弘クラブオフの特典●

	ホテルや旅館 国内約20,000施設 最大80%OFF		グルメ 全国40,000店以上 最大50%OFF
	スポーツクラブ 全国約2,500カ所以上 会員優待価格		映画館 全国約300館 会員優待価格

他にも暮らしに役立つメニューやプレゼント企画など/ ※写真はイメージです。

登録前でもお試しで
ご覧いただけます!



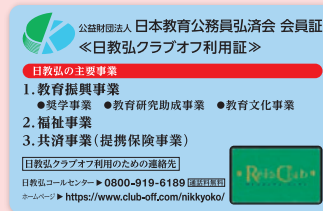
<https://www.club-off.com/nikkyoko/>

ご入会についてのご案内

- WEBまたは入会申込書にてご入会ください。
- 会費等費用は、一切不要です。
- 会員になられた方は、当会の共済事業に参加することができます。
- 入会された方には、会員証をお送りします。

※お手元に届くまで事務手続きの関係で20日～50日ほどかかります。

WEBから入会の方はこちら



日教弘クラブオフのサービス内容に関するお問い合わせは
0800-919-6189まで

生命保険・損害保険 資料見積請求

FAX 0120-66-3957

★資料見積をご希望の方は下欄にご記入いただきFAXでお申込み下さい★

お電話でのお申込みも歓迎いたします。 TEL.0120-88-4204 (損害保険部)

お名前				勤務先	勤務先電話:		
〒	職員番号			所属コード			
ご自宅住所					ご自宅電話		
					携帯電話		

●表紙下欄「個人情報の取扱いについて」に同意の上、お申込み下さい。

202507

ご希望の保険種目に○をして下さい。 ※生保と損保は別送付となります。

生命保険

() 新教弘保険

() ユース教弘保険

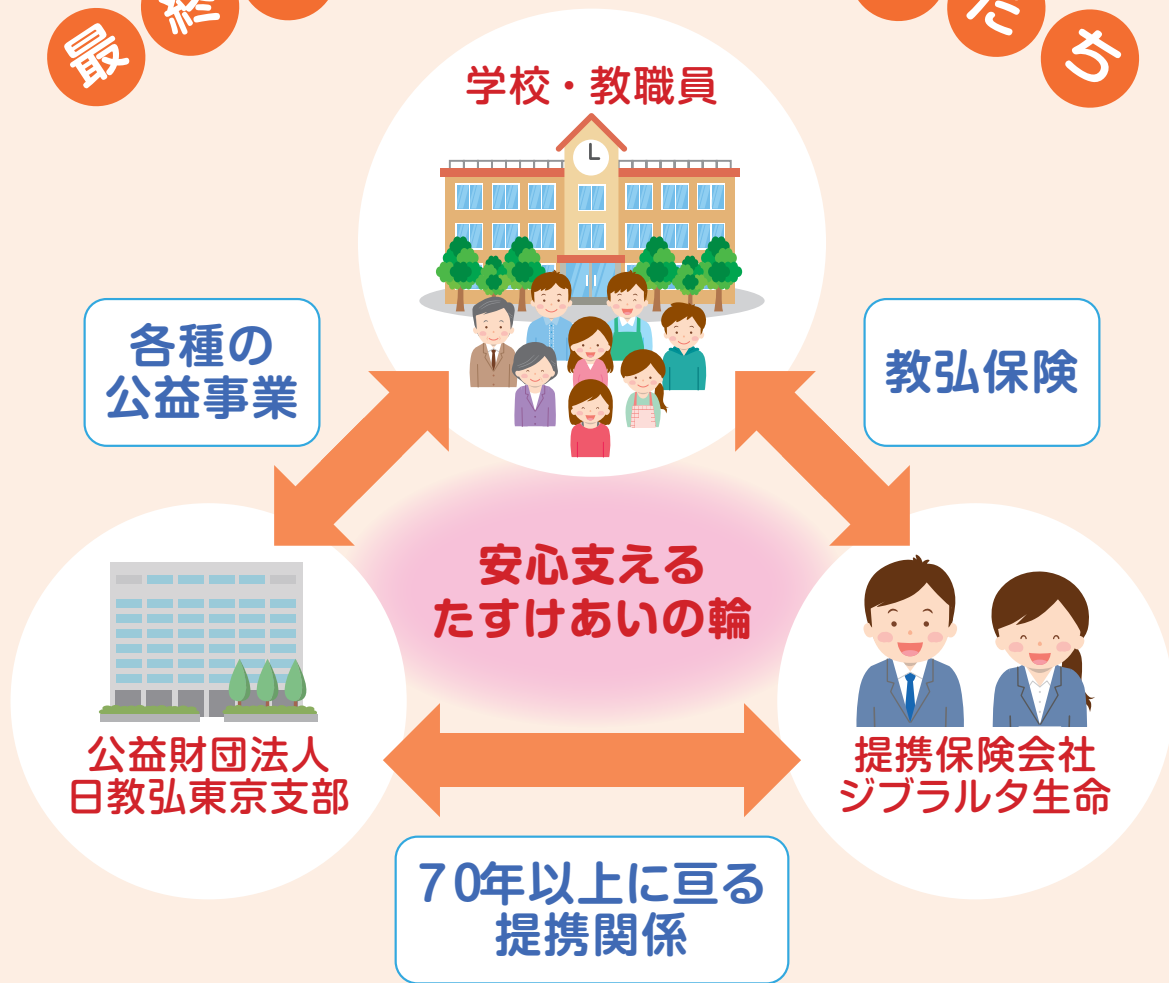
損害保険

() 教職員収入ロングウェイサポート

※損害保険につきましては、令和6年度より福祉事業の参加資格が対象外となります。

東京支部での**事業申込み**は今まで通り、「職員番号」の記入が必要です。
公益財団法人日本教育公務員弘済会(略称日教弘)が発行しております会員証に記載の**日教弘の会員番号**ではございませんのでご注意ください。

最終受益者は子どもたち



弘済会協力団体一覧

- 東京都公立小学校長会
- 東京都中学校長会
- 東京都公立高等学校長協会
- 東京都立特別支援学校長会
- 東京都公立小学校副校長会
- 東京都公立中学校副校長会
- 東京都公立高等学校副校長協会
- 東京都立特別支援学校副校長会
- 東京都退職校長会
- 東京都公立学校退職教頭・副校長会連合会
- 東京都公立小中学校事務職員会
- 東京都公立学校事務職員会
- 東京都教職員組合
- 東京都高等学校教職員組合
- 東京都公立学校教職員組合
- 東京都障害児学校教職員組合
- 東京都公立学校事務職員組合
- 東京都庁職員労働組合都立学校支部
- 東京私立学校教職員組合

※公益財団法人日本教育公務員弘済会（略称日教弘）の教育振興事業（奨学事業、教育研究助成事業、教育文化事業）及び福祉事業は教弘保険の契約者配当金により運営されており、日本の教育界に貢献しています。

編集・発行：公益財団法人 日本教育公務員弘済会東京支部
株式会社 都教弘
問い合わせ先：03-5210-4201